

辻荘一文庫（1）

長くグレゴリオの家の事務室で献身的に働かれた館岡さんより辻荘一先生の遺品から楽譜の寄贈を受けました。辻先生は日本における教会音楽研究者のパイオニアであり、館岡さんの御祖父にあたられます。

「辻文庫」のハンを押して普段皆さんが使う楽譜のなかに一緒に並べて利用に供するものと、歴史的資料として別置するものとに分けます。資料費では購入できなかった楽譜も多数含まれておりますので、順次ご紹介していきます。どうぞご利用ください。

#Beethoven,L.van:	Missa Solemnis	(MC1/B415/1)
#Britten,B:	War Requiem	(MC1/B862/4,5)
#Britten,B:	Choral dances from Gloriana	(MC1/B862/3)
#Distler,H:	Weihnachtgeschichte,op10	(MC1/H614/1)
#Händel,G.F:	Laudate pueri,Psalm 112	(MC1/H236/#237)
#Haydn,J:	Missa Nelsonmesse	(MC1/H414/11)
#Scarlatti,A:	Passio Domini secundum Johannem	(MC1/S286/4)
#Scarlatti,A:	Messa di S Cecilia	(MC1/S286/3)

このなかで特筆すべきはディストラーのクリスマスオラトリオでしょう。ディストラーはドイツプロテスタントの伝統に深く根ざした現代作曲家です。彼の作品の根本にあるのはドイツの伝統音楽の再発見であり、特にシュッツからの影響を受けていますが、過去を模倣するのではなく、精神を継承しながらも、生み出される作品は20世紀を生きた彼の個人様式に貫かれています。そういう意味で、宗教音楽の伝統と現代の問題を考えるうえでも重要な作曲家です。今までディストラーの楽譜は全く所蔵していませんでしたので、貴重な一冊となりました。

(続く)

杉本ゆり記